

持続可能な宅配ラストワンマイル検討

協議会名:川崎市ラストワンマイル物流検討協議会

協議会構成員

川崎市、佐川急便株式会社、ヤマト運輸株式会社、富士通株式会社(順不同)

【事業実施背景】

市民生活や産業の重要なインフラである宅配の荷物数は、市民のライフスタイル等の変化に伴い今後も増加が見込まれる。また、環境への対応(温室効果ガス排出量の削減 等)にも取り組んでいく必要がある。

事業内容

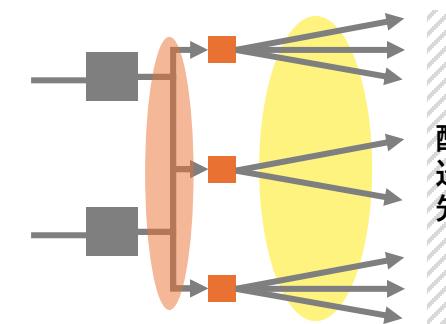
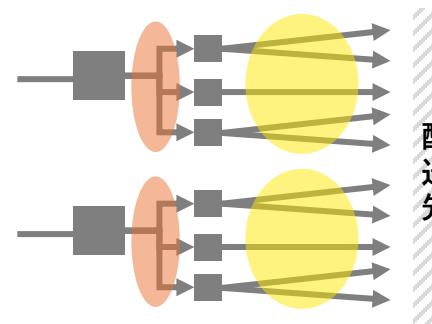
Point

持続可能なラストワンマイル配送の実現(配送の最適化と脱炭素化)に寄与する、地域の物流(宅配)や共同配送の調査・分析等を行う。

仮説：配送の共同化により、最適な「都市型の域内物流」を実現

同一エリアを複数の事業者が配送

ラストワンマイル配送の共同化により
物流の最適化や環境課題に対応



凡例

配送拠点

→ ルート(トラック・エリア等)

想定事業実施効果

市域における宅配のラストワンマイル配送が最適化されることにより、以下の効果が見込まれる。

- ・ 交通量の減少(円滑な交通流の実現)
- ・ 温室効果ガス排出量の減少

(具体的な定量目標については、本事業において検討する。参考となる定量目標:「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」では、市域全体で2030年までに2013年度比50%の温室効果ガス排出量の削減を目標として設定している。)